Taishoku gojo kaihou

退職互助会報

●令和８年７月27日発行● No.148

編集・発行　一般財団法人岡山県教育職員互助組合（退職互助）
岡山市北区内山下２丁目４番６号
岡山県教育庁福利課内
直通☎（086）226－7610
（URL）https://www.okayamafukurinet.jp



第50回教職員美術展より
「夏・燦々」
鶴山中学校／清水　督弘

おもな内容 contents

・退職互助事業決算及び予算概要
・支部だより
・私の健康法／私の趣味
・学校の想い出
・教職員美術展開催及び作品募集要項
・「療養補助金」Q＆A
・訃報
・事務局だより

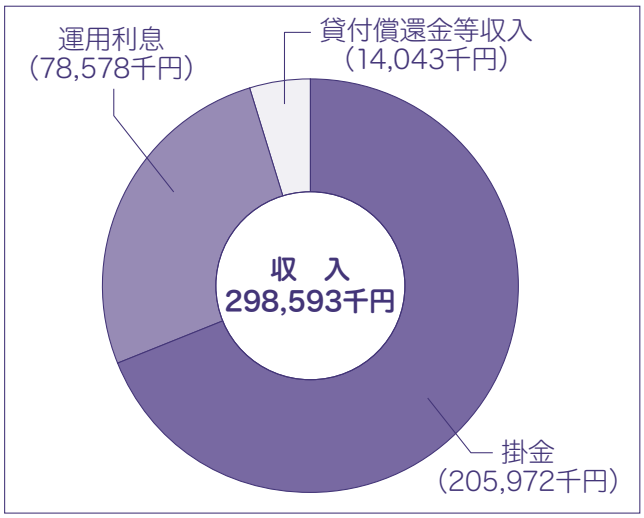
令和７年度　退職互助事業　決算概要

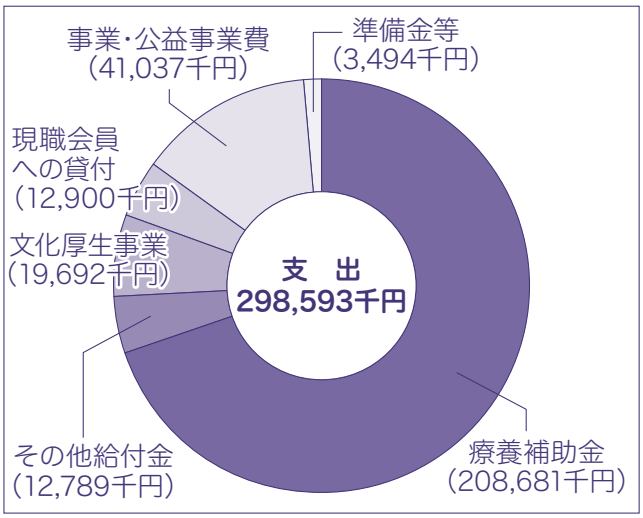
令和７年度の決算概要についてお知らせします。

会員数

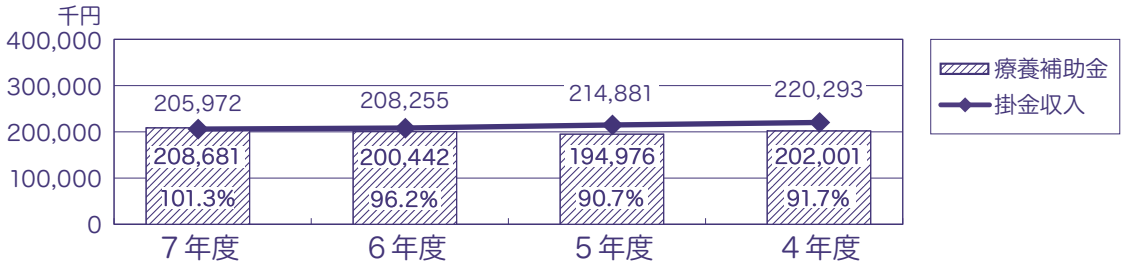
令和７年度末	現職会員	8,232人	退職会員	15,288人

収入と支出の状況



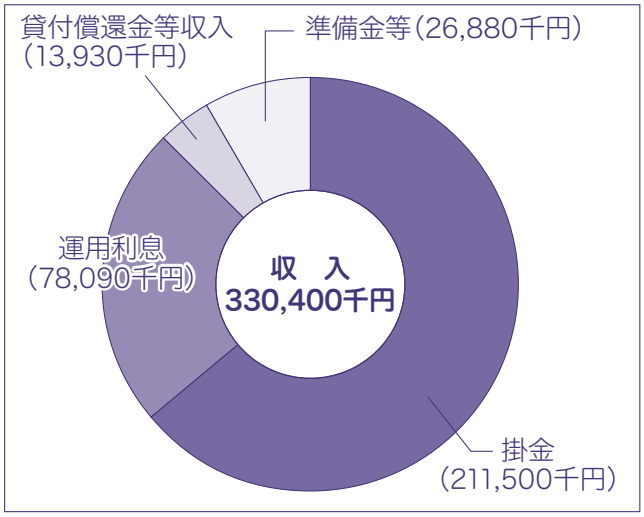


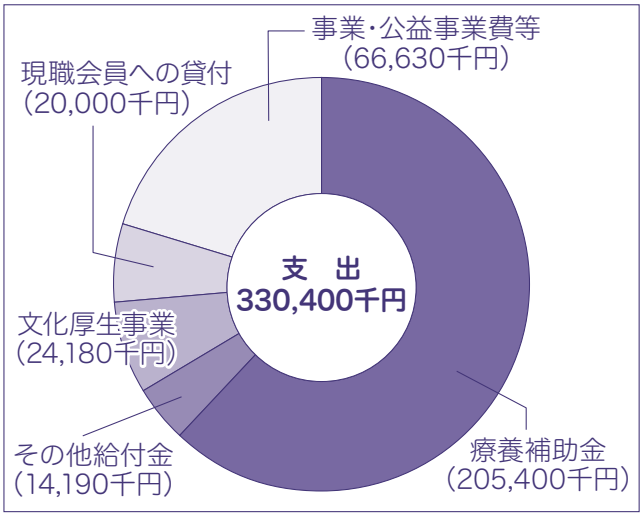
掛金に対する療養補助金の割合



令和８年度　退職互助事業　予算概要

令和８年度の予算概要についてお知らせします。





支部だより

岡山北幼・小支部

岡山市には３つの支部があり、居住地によって、北・南・東の各幼・小支部に分かれています。岡山北幼・小支部は、令和７年度会員数657名でスタートしました。支部長１名、副支部長２名、常任理事２名、理事16名、監査２名の役員で会を運営しています。年間５回の役員会を行っています。主な事業として、総会・講演会、南・東幼・小支部との合同研修視察旅行、「日本伝統工芸展」の鑑賞補助等を実施しています。

○総会・講演会（５月29日）

70名の会員が参加して、ピュアリティまきびで総会と講演会、班長会が行われました。講演会の演題は「岡山の歴史－県立博物館所蔵資料を中心に－」で、講師は岡山県立博物館副館長の内池英樹氏でした。県立博物館に展示してある文化財を中心に岡山県の古代から近世までの歴史についてお話しくださいました。専門家ならではのお話で、参加者は郷土の文化財や歴史に改めて深く興味をもつことができました。班長会は年１回総会時に行われ、各小学校区の世話役が集まり役割の確認をしました。



○３支部合同研修視察旅行（10月15日）

総勢100名、バス３台で「世界遺産　国宝姫路城」に行きました。真っ白で優美な姫路城は圧巻でした。姫路城の周辺にも様々な見所が有り、各々の興味や体力に合わせて、見学しました。「久々にお会いできる方も多く、楽しい一日を過ごせました。来年も元気に参加したい。」「目標の『天守閣まで登り降りる』を達成でき、大満足。おでんも美味しく、満腹で大満足。」等の感想をいただきました。



○文化活動（11月13日～30日）

岡山県立美術館で行われた「日本伝統工芸展」の鑑賞助成を行い、59人が鑑賞されました。陶芸・染織漆芸・金工・木竹工・人形等々の作品が出品されていましたが、緻密な工芸の技に、目を奪われました。

（岡山北幼・小支部　黒田　和子）

笠岡支部

令和８年度笠岡支部は、９名の新会員を迎え、総勢390名でスタートしました。事務局役員５名と27名の幹事で年３回幹事会を開催し、運営にあたっています。支部の主な事業は、以下のとおりです。

★新会員歓迎懇談会（５月23日開催）

歓迎と退職互助組織の説明を兼ねた懇談会です。退職後の生活について、先輩会員とのフリートークも行っています。

★作品展（５月最終の金・土曜日開催）

日頃の文芸活動や趣味の成果を持ち寄って鑑賞し合い、会員相互の親睦と交流を図っています。令和６年度からは、地区ごとに行っている班活動の作品（プリザーブドフラワー、革細工、陶芸など）の出展も行われています。

★総会・講演会（５月最終土曜日の午後）

作品展開催中の土曜日の午後から開催しています。総会後の講演会は、真言宗御室派本山布教師　大原英揮氏を講師に招聘し、「祈りのかたち」という演題で法話とバイオリンの演奏により、心豊かなひとときを過ごしました。

★スポーツ大会（６月・11月開催）

年２回開催しています。６月はニュースポーツ（ボッチャ、ユニカール大会など）、11月はグラウンド・ゴルフ大会を実施しています。グラウンド・ゴルフ大会は、「太陽の広場グラウンドコース」で本格的なコースを回り、上位３位までの表彰やトビ賞を設けて盛り上がっています。

★親睦旅行（10月下旬開催）

毎年、日帰りバス旅行を開催しています。昨年度は、新見美術館と金持神社に行き、昼食は熟成千屋牛を堪能しました。35名の参加でした。今年度は、宮島方面に行く予定です。

★班活動

15地区の班がそれぞれ企画・運営して会員の親睦を図る活動をしています。研修会をしたり、作品作りをしたりと地区で活動をいろいろと工夫しています。

（笠岡支部　廣井　正己）



NEXT　次回の支部は岡山南幼・小、小田支部

私の健康法



赤磐支部
井上　隆治

「元気の源　ペタンク」

「ブラボー！すごい！上手い！」週に２、３回は叫びながらペタンクを楽しんでいます。月に１、２回は競技大会にも出ます。投球練習は毎日欠かしません。退職してからはペタンクが単なる趣味ではなく、心身の健康を支える大きなエネルギーになっています。

転勤した職場で同僚に誘われて始めたのがペタンクでした。転機となったのは２年目です。私は日本選手権大会に仲間と出場し、何と「準優勝」という結果を出してしまいました。それ以後ペタンクの沼にドップリはまっていきました。

ペタンクは金属製のボールを転がして、目標となる小さな玉に寄せ合う競技です。一球ごとに状況が変わっていくゲーム展開に盛り上がること必至です。どこでも誰とでも楽しめる手軽さも特長です。ただ、投球動作が単純なため、逆に技能の向上と定着が難しい競技です。試合では普段通りの投球ができる「精神的な自己コントロール」が必要です。更にメンバーとの信頼関係や状況判断と作戦が勝敗を大きく左右します。追求すればする程奥深いスポーツです。

ペタンクにかかわる中で、湧き出るエネルギーは自分の殻を破って想像以上に拡大しています。赤磐市ペタンク協会を立ち上げ、３年前から「楽しむ・つながる・えがお赤磐」を掲げて「ペタンクでまちづくり」を展開しています。昨年11月には「交流ペタンク大会」を開催し、100名近くの参加者を得ることができました。現在50名程の会員仲間もできました。地域の暮らしに溶け込んだ「ペタンクの景色」を市内各所に出現させることが私の生きがいとなっています。

「今の感覚、忘れないように」とつぶやきながら昨日は一人投球練習をしました。今日は仲間とペタンクの試合を楽しんでいます。ペタンクで活力をもらい、ペタンクを通して多くの人と出会います。生活の一部になったペタンクこそが私の健康法そのものです。

NEXT　次回の支部は勝田支部

私の趣味



苫田支部
和田　義尚

2025年の鏡野ファンライドは、９月28日（日）に行われました。出発地点の鏡野ドームで補佐してくれるスタッフの方に尋ねてみると、ロングコース（80km）250名は７時にもう出発したそうです。私たちミドルコース（60km）200名は、予定通り定時の９時に出発し、私は先頭集団で張り切ってスタートしました。越畑までは緩やかな登りでいつものようにゆっくり走っていると、途中で岡山市から参加の年配の方が勢いよく抜いて行かれました。少しびっくりしましたが、他の参加者達も笑顔を見せ楽しそうにロードバイクを漕いでいました。

越畑の手前で水分補給をし、約１kmのかなり急な上り坂に挑戦。心臓破りの急坂で、他の参加者も苦痛の表情を浮かべながら頑張っていました。最後のトンネルを抜けると右下に香々美ダム湖の美しい湖面が見え、最初のささやかな達成感を感じました。越畑エイド（補給食等の休憩所）で軽食と飲み物のサービスを受けました。天気がよいので参加者も仲間達とにこやかに談笑し、しばしの休憩を取り次々に出発してゆきました。越畑から奥津温泉に抜ける林道は頂上の泉山の登山口まで延々4.5km程度続く急なつづら折りの坂です。今までの経験が生かされ何とか登り切ることができました。ここからは下り坂なので50km／時程度のスピードで下りました。

奥津温泉を過ぎ奥津振興センターエイドで同様なサービスを受け、颯爽と鏡野ドームに向け下って行く途中でロングコースの参加者達とすれ違いました。彼らは全国から集まって来ており、ロードバイクもウエアーも私とは大違いの豪華さで、すごいスピードで走って行きました。ゴールの鏡野ドームへは約３時間半で到着しました。71歳の自分の体力にも自信が持て、また達成感を得ることができました。



NEXT　次回の支部は瀬戸内支部

学　校　の　想　い　出

「駆け出し１年目」



岡山高行東支部
三浦　隆志

1982年４月、岡山芳泉高校で社会科の教師として職を得た。教師１年目は、学習指導要領の改訂に伴って、その年度から新たに始まった“現代社会”と“日本史”、さらにクラス担任に伴うLHRを担当して、教師としてのキャリアは始まった。

現代社会は、社会の諸問題を資料等を用いて多角的に理解することに授業の主眼が置かれ、本格的に環境問題を扱うなど画期的な内容を持っていた。当時の高教研社会科部会では、授業で活用できる事例集の作成が企画され、私も先輩の先生方に相談しつつ、教材を作成しては授業で実践を繰り返すという毎日であった。

芳泉高校では、教育活動の一つの柱として、生徒に「本物」の経験をさせることを重視していた。特に、著名な方の講演や伝統芸能の鑑賞などが頻繁に行われ、その経験はそれからの私の教師キャリアに大きな影響を与えた。

夏休みには、２年生の修学旅行にあるクラスの“助っ人”として同行した。修学旅行は、信州方面に３泊４日の日程で、クラスで特徴的な３つのコースから選択した。同行したクラスでは、上高地周辺をクラスでトレッキングをするコースであった。スキーで長野は行ったことがあったが、上高地トレッキングは初めてだったため、生徒たちと楽しんだ。バスの車内では、「聖母たちのララバイ」「奥飛騨慕情」など、当時、流行っていた歌謡曲が飛び交い、目的の上高地では、梓川沿いに歩いてウエストン碑や明神池などを訪れた。何よりも、透明な梓川と穂高連峰のコントラストに心を打たれた。

昨年、長野での仕事の折、あの修学旅行以来の上高地を訪れた。生徒たちと泊まったホテルや上高地の景色は昔のままであった。そのとき、一緒だった生徒たちも、昨年度、60歳になり、第二の人生を迎える時期となった。先日、教師になったある生徒が自身の退職前に連絡してきてくれた。あの上高地の修学旅行について楽しかったことをお互いに共有したことは言うまでもない。



「ハンブルグ日本人学校の思い出」



高梁西支部
平川公之助

私は今から40年程前、在外教育施設派遣教師として、当時の西ドイツ・自由ハンザ都市ハンブルクの日本人学校で勤務した。国際貿易港として長年培われてきた開放的な雰囲気から、人種の違う人々と仲良く暮らすことができた。

比較的治安も良かったので、保護者の送迎以外に電車・バスを利用する児童生徒も多くいた。生徒指導では、ドイツの交通ルール・乗り物でのマナーなどを具体的に指導した。たとえば「日本語」は雑音に聞こえるので、車内で話すならドイツ語でと。

小学部２年では、校外学習「マルクト（市場）で買い物をしよう」を実施した。市内バスに20分程乗ってオートマルシェのマルクトに着いた。保護者５名に通訳をお願いして、マルクトの管理人の話を聞いた。その後、５班に分かれ、１人３マルク（当時約300円）を持って買い物をした。ドイツ語も使いながら、ネクタリン・もも・いちご・パン・ハムなどを買っていた。日本ではおつりを「ひき算」で計算するが、ドイツでは逆に「たし算」をする。店員が商品の代金に硬貨を足しながらおつりを渡してくれるのがおもしろかった。

平成元年５月には、保護者の尽力で往年のブンデスリーガで活躍した奥寺康彦さん並びに尾崎加寿夫さん・安藤琢也さん３選手を迎えてサッカー教室が開かれた。ドイツリーグでの体験談や実技指導を受け、児童生徒は嬉々として取り組み、大成功の行事となった。奥寺さんの「頭を使ってプレーしなさい」の言葉を今でも覚えている。

勤務３年目、1989～1990年は「ベルリンの壁」崩壊以来東欧民主化が急激に進展するのを身近に見聞することができた。休日に、ベルリンに出かけて多くの市民が東西ドイツ分断の象徴であったベルリンの壁に殺到し、ハンマーを振るっている姿を撮影した。

日本の２倍も３倍も充実した毎日で、思い出が尽きない。

※地名はカタカナ表記で「ハンブルク」ですが、学校名は「ハンブルグ日本人学校」となります。

NEXT　次回の支部は岡山高行西、新見支部

おかやま教育の日協賛事業・おかやま県民文化祭参加事業

第51回岡山県教職員美術展開催及び作品募集要項

1　趣　　旨　県下の教職員等から募集した作品を展示公開し、技術の向上と助長を図るとともに県民文化の振興に資することを目的とします。

2　主　　催　岡山県教育委員会・一般財団法人岡山県教育職員互助組合

3　会　　期　**令和８年10月27日（火）～11月１日（日）**
午前９時～午後５時（最終日：午後３時まで）

4　会　　場　**岡山県天神山文化プラザ　第１・第２展示室**



第50回岡山県教職員美術展
写真部門「天空の城と伯耆大山」
甲平　信吉

5　規格等

区　分	規　格　等	添付用紙	申込時の注意事項
①日本画	10号以上50号以内（水墨画含む）	解説文	・上下の区別が分かるようにする ・仮額装を基本とする（縁の幅：マットを含め６㎝以内） ・軸装は不可とする ・画面保護の必要のある時は、アクリル板を使用（ガラス不可） ・展示用にヒートン及び紐（ひも）を付ける
②洋　画	10号以上50号以内		
③版　画	50号相当以内		
④彫　刻	縦200㎝×横200㎝×高200㎝以内 重量350㎏以内		・前後左右、正面、上下の区分が分かるようにする ・作品完成イメージスケッチまたは写真を添付する
⑤写　真	全倍紙以内 （組写真連作は、100㎝×75㎝までのワク張り）		・上下の区別が分かるようにする ・パネル張りを基本とする（ワンタッチパネルを含む） ・作品と同じトリミング加工のＬ判を添付する（返却不可）
⑥工　芸	縦100㎝×横100㎝×高100㎝以内 重量200㎏以内 ［陶芸、染織、漆芸、木竹工芸、金工、ガラスなどの工芸］		・破損の恐れのあるものは、受付けることができません ・前後左右、正面が分かるようにする ・作品完成イメージスケッチまたは写真を添付する
⑦書　道	小画仙紙～全紙以内（縦横自由） ［軸装、屏風、巻子は不可］	釈文用紙	・伝統書並びに現代書の額装とし、展示用のひもを付ける ・パネル装は、展示用ひもの取付け金具が突飛しないものに限る ・画面保護の必要のある時は、アクリル板を使用する（ガラス不可）

出品料	無　料
その他	各部門ごとに１人２点以内とし、出品作品の審査は行わない。

搬　入	日　時	令和８年10月25日（日）　10：00～13：00まで（時間厳守）
	場　所	岡山県天神山文化プラザ　第１練習室（搬入搬出票をご持参ください）
搬　出	日時等	令和８年11月１日（日）　15：00～16：30まで（時間厳守）…各展示室 令和８年11月２日（月）　９：00～11：00まで（時間厳守）…第１展示室

6　参加資格　（一財）岡山県教育職員互助組合会員、準会員、特別会員、招待者、岡山県内の公立学校・教育委員会に勤務する教職員及び職員

7　申込期限　**令和８年９月11日（金）必着（申込期限後は受付けることができません）**
申込者へ10月上旬に「案内状」、「作品貼付用紙・搬入搬出票」、「釈文用紙」を送付します。

8　申 込 先　〒700-8570　岡山県教育庁福利課　退職互助班（所在地不要）
℡（086）226-7610（退職互助班直通）

9　その他注意事項おことわり
①申込期限後の受付け、並びに作品名の変更はできません。
②作品の題名は原則12文字以内とさせていただきます。
③本規格に違反する作品、破損の恐れがある作品は受付けることができません。
④申込書に作品作成についての解説文をご記入ください。解説文が不要な場合は「コメントなし」とご記入ください。
⑤出品申込書、解説、釈文等については、楷書で分かりやすくご記入ください。
⑥搬入、搬出は出品者の責任において行ってください。
⑦作品の取扱いには万全を期しますが、不慮の事故等による作品の損傷などについては責任を負うことができませんので、ご了承ください。

おかやま教育の日協賛事業・おかやま県民文化祭参加事業

第51回 岡山県教職員美術展申込書

資格	招待 ・ 一般

題名ふりがな	※ふりがなは事務局用です。展示作品票には記載されません。												
題　　名													
所属所名（所属コード）	（　　）	【所属所TEL】（　　）　－											
会員番号	現職者（組合員証番号）				退職者（特別会員番号）								
氏名ふりがな					雅号ふりがな								
氏　　名					雅　　号								
自宅住所	〒　　－　　住所												
連絡先電話番号	Tel　　（　　）												
図録以外への掲載について	出品作品は美術展の図録以外に次の広報誌等へ掲載させていただく場合があります。掲載についてお伺いしますので、いずれかに「○」印をお願いいたします。 私は、美術展図録の表紙・裏表紙、美術展ポスター・ハガキ、福利おかやま、退職互助会報、教育時報への掲載を　□承諾します。　□承諾しません。 サイズは額を含む　意思表示のない場合は、掲載を承諾しないこととします。												
部門・サイズ等	① 日本画	縦型・横型（　　）号　縦　　cm×横　　cm											※解説を記入
	② 洋　画	縦型・横型（　　）号　縦　　cm×横　　cm											※解説を記入
	③ 版　画	縦型・横型（　　）号　縦　　cm×横　　cm											※解説を記入
	④ 彫　刻	縦　　cm×横　　cm×高　　cm 重量　　kg											※写真又はスケッチを添付 解説を記入
	⑤ 写　真	縦　　cm×横　　cm											※L判を添付(返却不可) 解説を記入
	⑥ 工　芸	縦　　cm×横　　cm×高　　cm 重量　　kg											※写真又はスケッチを添付 解説を記入
	⑦ 書　道	縦　　cm×横　　cm	該当を○印 半切 ・ 縦型 ・ 横型 ・ パネル装										※釈文を記入

解説文並びに**釈文**【書道の部は釈文、**書道以外の部は作品作成についてのコメントを記入してください。】**

＜注意事項＞

①申込み後の作品名の変更はできません。また作品の題名は、原則12文字以内とさせていただきます。

②写真部門は、図録掲載用の写真（L判）を添付してください。出品作品と同様にトリミングしたもので、裏面に作品の上下、作品名、氏名を明記してください。なお、写真はお返しできませんのでご了承ください。

③彫刻・工芸部門は、作品のイメージスケッチまたは写真を添付、作品の正面を記入してください。

④書道部門は、パネル装での申込みの場合、搬入・展示・写真撮影の際、他の作品を損傷しないよう展示用ひもの取付け金具にご注意ください。破損の恐れがある場合、搬入の際お持ち帰りいただくこともあります。

⑤出品料は　**無　料**　です。（出品者には図録１冊贈呈）

＜案内送付＞申込者へ10月上旬に「案内状」、「作品貼付用紙・搬入搬出票」、「釈文用紙」を送付します。

申込期限：令和８年９月11日（金）必着

※締切後の受付けはいたしません

「療養補助金」Q & A

会員の皆さまから多くいただく質問について掲載しています。
※多くいただく質問は、再掲している場合があります。

Q1　領収書はコピーを添付しても良いですか？

A1　提出はコピーで大丈夫です。**受診者名、受診日、領収額、医療機関等**が全て確認できる状態のコピーをご提出ください。
　何かの裏紙へのコピーや両面コピー、過度な縮小は領収書の再提出や給付漏れの原因等になりますので裏紙の使用や縮小はせず、片面コピーでのご提出にご協力ください。

Q2　領収書の量が多い場合はどのように添付すればよいですか？

A2　領収書の枚数が多い場合は、クリップ等で留めてご提出ください。

Q3　何月分まで請求書を提出したかが分からない場合はどうすればよいですか？

A3　事務局（086-226-7610）までお問い合わせください。
請求状況を確認させていただきます。

Q4　何年分までさかのぼって請求できますか？

A4　療養補助金の請求期限は**３年**です。
例）令和５年７月受診分⇒令和８年７月31日まで受付可能
　　令和５年８月受診分⇒令和８年８月31日まで受付可能

Q5　療養補助金請求書は１年分まとめて提出できますか？

A5　請求書は月ごとに作成していただく必要がありますが、送付はまとめてでもかまいません。
なお、Ｑ４のとおり請求期限は３年以内となりますので、ご注意ください。

Q6　７月３日に○○内科を受診しました。すぐに療養補助金を請求してもよいでしょうか？

A6　**翌月の８月以降にご請求ください。**
７月末までに再度受診することがあるかもしれませんし、他の病院にかかるかもしれませんので、請求書については**その月の受診の終了が確実になってから、１ヶ月分をまとめて翌月以降にご請求ください。**

Q7　病院の領収書と調剤薬局の領収書を合算してもよいのでしょうか？

A7　合算できません。
病院と調剤薬局に分けて請求してください。

Q8　Ａ病院とＢ病院で受診後、それぞれの処方箋を持ってＣ薬局で二つの病院の薬を受け取り支払いました。その場合は、Ｃ薬局の領収書は合算できますか？

A8　処方箋の発行元が異なっていても領収書の発行元が同じであれば、Ｃ薬局の支払いとして合算いただくことができます。
ただし、同じＣ薬局でも異なる店舗で支払いをされている場合は、合算できません。

Q9　介護保険が適用されている費用は療養補助金の対象となりますか？

A9　対象になりません。
療養補助金の対象となるのは、医療保険での自己負担の治療費のみです。

Q10　医師の指示を受けて装具業者でコルセットを作成しましたが対象になりますか？

A10　対象になります。
請求には**領収書と医師の装着証明書（または意見書）**が必要です。
装着証明書がない場合は、「医療費のおしらせ」または、加入している健康保険からの「支給決定通知書（還付通知）」を添付してください。

事　務　局　だ　よ　り

◇陳情署名にご協力ください

「全ての世代が健やかで心豊かに暮らせる社会保障制度の確立と教職員が教育に専念できる環境の整備を求める陳情」につきまして、署名のご協力をお願いします。送付いただいた署名簿を携えて岡山県選出の国会議員へ陳情する予定です。

署名欄をすべて埋めていただく必要はありません。会員ご本人様１筆分の署名でも構いませんので、10月２日（金）までに退職互助班へ送付してください。署名用紙が必要な場合は、退職互助班へご連絡ください。ホームページからもダウンロード出来ます。

署名は自署でお願いします。（代筆やコピーは無効）

◇住所変更等の連絡について

次の項目に該当する場合は、４月末送付時に同封しております「特別会員異動届」を事務局までご提出ください。

・転居された場合　・住居表示の変更があった場合　・電話番号を変更された場合
・改姓された場合　・給付金登録口座を変更されたい場合

◇療養補助金請求書の提出時期について

療養補助金請求書は毎月でも、数ヶ月～数年分まとめて（ただし、請求期限３年の範囲内）でもご請求いただけますが、請求書の提出件数については１月から５月（特に１～２月）に集中しており、提出件数が一番少ない月と一番多い月で約３倍の差が生じております。

請求書については、できるだけ６月から12月にご提出いただき、提出時期の分散にご協力いただければ幸いです。

昨年度の会報を見て提出時期をずらしていただいた方におかれましては、ご協力ありがとうございました。

◇優待施設に関するお知らせ

４月末に送付しました「令和８年度　退職互助特別会員　制度冊子」に掲載の「レイスポーツクラブ」の利用者負担額がとおり変更となりますので、お知らせいたします。

また、「オーバルスポーツコム」の金額が誤っておりましたので、次のとおり訂正しお詫び申し上げます。

施設名等		優待内容	
		月会費（利用者負担額）	都度利用
レイスポーツクラブ	岡　山	７，７００円 → R8.5～　８，５８０円	８００円／回
	倉　敷	７，７００円 → R8.6～　８，５８０円	８００円／回
オーバルスポーツコム	円　山 妹　尾 総　社 玉　野		誤　９６８円／回 **正　８８０円／回**